

【総合的な学習の時間】 第1回授業 指導案

芝浦工業大学柏中学高等学校 探究科

1. 単元名 ガイダンス

2. 本時の概要

本時は、中学1年生の「総合的な学習の時間」のスタートとなる第1回のガイダンス授業である。本校の中学1年生の探究活動では、生徒一人ひとりが自分の興味・関心をもとにテーマを設定し、身近な疑問から課題を見いだしていく。その後、必要な情報を収集・整理・分析し、調べた内容をレポートにまとめるとともに、ポスターセッション形式で発表する。作成したレポートは、全員が外部の「図書館を使った調べる学習コンクール」に応募する。

この活動で特に重視しているのは、「自分を知ること」と「調べて、書く」の二つである。「自分を知ること」とは、自分の興味や関心、価値観を見つめることであり、「調べて、書く」とは、収集した情報やデータを根拠として、自分の考えを分かりやすく伝えることである。これらは、高校で取り組む課題研究の基礎となる力である。

第1回となる本時では、1年間の活動の流れや、本校が育成を目指す資質・能力である「SSコンピテンシー」を示し、これから取り組む探究活動の全体像を理解させる。また、「じぶん観察シート」の作成や「コンピテンシー調査」を通して、生徒が自分自身の興味や関心、現在の力を振り返る機会を設ける。

これらの活動を通して、次回以降に行うマインドマップの作成や、互いの興味・関心を共有する活動につなげるとともに、生徒が主体的に探究を始めるきっかけとするため、本時を設定した。

3. 本時の目標

- **探究活動の意義と全体像の把握:**「総合的な学習の時間」の目的、年間計画、本校の育成すべき資質・能力であるSSコンピテンシーを理解し、高校での課題研究を見据えた探究活動の見通しを持つことができる。
- **自己の興味・関心の省察:**「じぶん観察シート」の作成を通じて、自身の興味・関心や大切にしている価値観を振り返り、探究テーマを設定するための足がかりとする。
- **主体的な学びの姿勢の確立:**コンピテンシー調査等を通して自身の学びの現状や態度を客観的に見つめ直し、今後の調査・レポート作成・発表に向け意欲的に取り組もうとする。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料:

- 授業スライド 第1回
- 使用教材(副教材):
 - 岡本尚也(2024)『ゼロから始める探究活動 課題研究メソッド ZERO』新興出版社啓林館
- 生徒用配布プリント:
 - じぶん観察シート
 - 探究ファイル
- 参考・引用文献:
 - 文部科学省(2017)『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編』
 - 上野千鶴子(2018)『情報生産者になる』筑摩書房

5. 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
1分	① 本時の流れの説明 スライドに基づき、本時の全体の流れ((1)今年度の総学について、(2)本時の活動について)を確認する。	生徒が本時の見通しを持って活動に取り組めるよう、提示を簡潔に行う。
19分	② 今年度の総合的な学習の時間についてスライドを用いて、以下の説明を聞く。 ・授業担当者の紹介 ・「総学」の目的(自分の好きなこと・興味のあることを徹底的に掘り下げる時間) ・中1の探究活動の概要(身近な疑問の調査・課題発見・情報整理・レポート製本・ポスターセッション発表) ・先輩たちの過去の作品例と「図書館を使った調べる学習コンクール」への出品・入賞実績 ・探究を行う理由(「自分を知る」こと、「調べて書く＝データをもとに論拠を示して伝える」こと、高校での課題研究の土台作り) ・1年間のスケジュール、『学習の手引き』、SSコンピテンシーの確認	・「好きなことを思い切り掘り下げる時間」であることを強調し、生徒の意欲を高める。 ・感想文ではなく「データや論拠を示して他人に伝える」ことの重要性を意識させる。 ・先輩の作品例やコンクール実績を示すことで、具体的な完成イメージを持たせる。
20分	③ 本時の活動についての説明・作業 スライドを確認し、「じぶん観察シート」の作成を開始する。	・「答えられる質問から答えてみよう」と声をかけ、心理的ハードルを下げる。 ・次回の授業で周りの人と内容を共有することをあらかじめ

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
		伝えておく。
10分	休み時間	集中力を維持できるよう、しっかりと休憩をとらせる。
【2時限目】		
5分	④ 配布物管理の確認 『探究ファイル』の取り扱いについて確認する。	・『探究ファイル』は中学3年間通して使用する貴重な資料保管用具であるため、大切に扱うよう強く周知する。
35分	⑤ コンピテンシー調査とシート作成の継続 スライドに基づき、以下の活動を行う。 ・総学の目標およびSSコンピテンシーの確認 ・「コンピテンシー調査」への回答 ・調査終了後、「じぶん観察シート」の作成を継続する ・次回に向けた連絡	・個別の進行状況に合わせて机間巡視を行い、調査や記入の個別サポートを行う。 ・「じぶん観察シート」は次回の授業までに書ける範囲で書いてくるよう(課題・宿題として)指示する。 ・次回の授業でマインドマップを作成するため、色鉛筆(5色以上)を忘れずに持参するよう確実に連絡・指示する。